

# CASBEE® 京都-新築

# 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西京極東大丸	階数	地上7F
建設地	京都府京都市	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	216 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,110 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月	評価の実施日	2013年4月20日
敷地面積	1,039 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社礎 藤森
建築面積	595 m <sup>2</sup>	確認日	2013年4月20日
延床面積	3,297 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社礎 藤森



ださい

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

#### Q 環境品質

Qのスコア = 2.8

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

##### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

#### LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.9

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

### 3 設計上の配慮事項

総合 特になし	その他 地域産木材を住戸内下地に使用。 複層ガラスを採用し、断熱性と気密性に配慮。
Q1 室内環境 エントランスホールに空調機を設置。	Q2 サービス性能 バリアフリー新法の建築物移動円滑化誘導基準を満たしている。 1階下部にピットを設け、設備配管のメンテナンスに配慮。
LR1 エネルギー 屋上に太陽光パネルを設置。	LR2 資源・マテリアル ほとんどの建材にF☆☆☆☆を採用。
	LR3 敷地外環境 屋外広告物等がないため、光害が少ない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される